



学校だより

6月号

令和5年5月31日
横浜市立洋光台第三小学校
校長 金澤 智美

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

じぶん 自分らしさをかがやかせて

ふくこうちょう たかはし さきこ
副校長 高橋 佐紀子



ようこうだいだいさんしょうがっこう しゅうねん
「洋光台第三小学校、50周年おめでとう。」

5月27日(土)「創立50周年記念運動会～ケヤドンピック2023～」では、子どもたちが大きな声でお祝いの気持ちを伝えました。50周年特別プログラムも実施され、子どもたちと卒業生、地域の皆様の「洋光台第三小の創立50周年をお祝いしよう。」という気持ちがひとつになりました。また PTA役員、運動会スタッフ、テント張りや受付などのボランティア、終わってからの片づけにご協力いただいた保護者の皆様、あたたかいご支援をいただきありがとうございました。また、特別プログラム「聖火リレー」にご参加いただいた卒業生の皆様、50年間の学校の営み、過去から未来に繋ぐ思いや願い、感動をありがとうございました。「50周年」という特別な思いを込め、あらゆる場面で意識した今年度の運動会。練習や準備の時から子どもたち一人ひとりが自分の力を精一杯発揮し、うきうきした気持ちで楽しみながら活動していました。特に5、6年生は演技や競技だけでなく、「50周年」をみんなで盛り上げようと、委員会ごとに分担された様々な準備に熱心に取り組みました。

大きな行事を実施するまでの過程で、子どもたちが自分の都合や苦労や失敗への不安はさておき、正しいと判断したことに自信をもって取り組む姿に出会うことがあります。自分で判断したことだから、思わぬ結果になったとしても「仕方ない。またやり直してみよう。」「何が原因でこの結果になったのだろう。だれかに聞いてみよう。」「一人じゃ大変だから何人か呼ぼう。」「PCや本で調べてみよう。」など、解決方法をあれこれ考え、取組をまた続けます。その姿に「その子らしいかがやき」を見出します。「やめた。」と投げ出したり、くやしそうにして途中で取組をやめたりすることもあります。それもまた「かがやく」ための過程で必要な時間と捉えます。そして様子を見守り、支援の方法を考えます。

行事当日の姿はもちろんのこと、当日までの過程の中でも子どもたちが「自分らしさ」をかがやかせることができるように、私たち教職員は見守り、支援を続けます。保護者、地域の皆様、引き続き「50周年! あいさつマスター☆みんな輝き続ける洋三の子」へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。